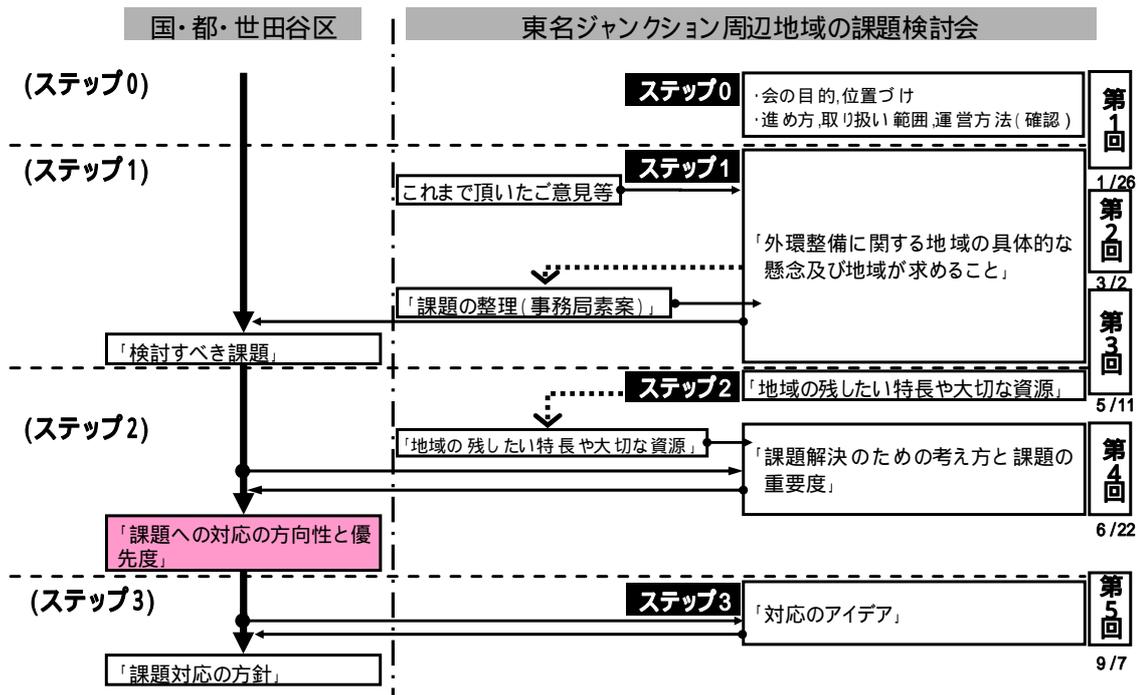


## ステップ 2-2

### 課題への対応の方向性と優先度

- 外環計画が具体化した際の東名ジャンクション周辺地域における課題に対する対応の基本的な方向性と、課題対応の優先度(検討や対応をどの段階で実施するか)を整理したものです。



## 東名ジャンクション周辺地域の課題検討会

### 課題への対応の方向性と優先度

#### 【本資料について】

- ・本資料は、外環計画が具体化した際の東名ジャンクション周辺地域における課題に対する対応の基本的な方向性と、課題対応の優先度(検討や対応をどの段階で実施するか)を整理したものです。
- ・東名ジャンクション周辺地域の課題検討会でステップ2の成果『課題解決のための考え方と課題の重要度』を受けて、主催者としての現時点での認識を示したものです。

東名ジャンクション周辺地域の課題検討会 主催者

(国土交通省・東京都・世田谷区)

## 『課題への対応の方向性と優先度』の取りまとめ及び東名ジャンクション以南の取り扱いについて

『課題への対応の方向性と優先度』では、当検討会「ステップ2」での議論の成果である『課題解決のための考え方と課題の重要度』を受けて、現時点において主催者が考える「検討すべき課題」への対応の方向性を記しております。

作成にあたっては、対応の考え方やアイデアとその背景にある課題を踏まえ、課題に対する対応について計画の要素（対応の段階や構造の位置）ごとに分類・整理しました。

東名ジャンクション以南の計画については、都市計画変更の区間に含まれておらず、今回整理した計画の要素には分類されておりませんが、みなさんから多数のご意見をいただいております、主催者として重く受け止めております。

今後、これまでの基礎的な調査等を踏まえて、検討のスピードを早めてまいります。

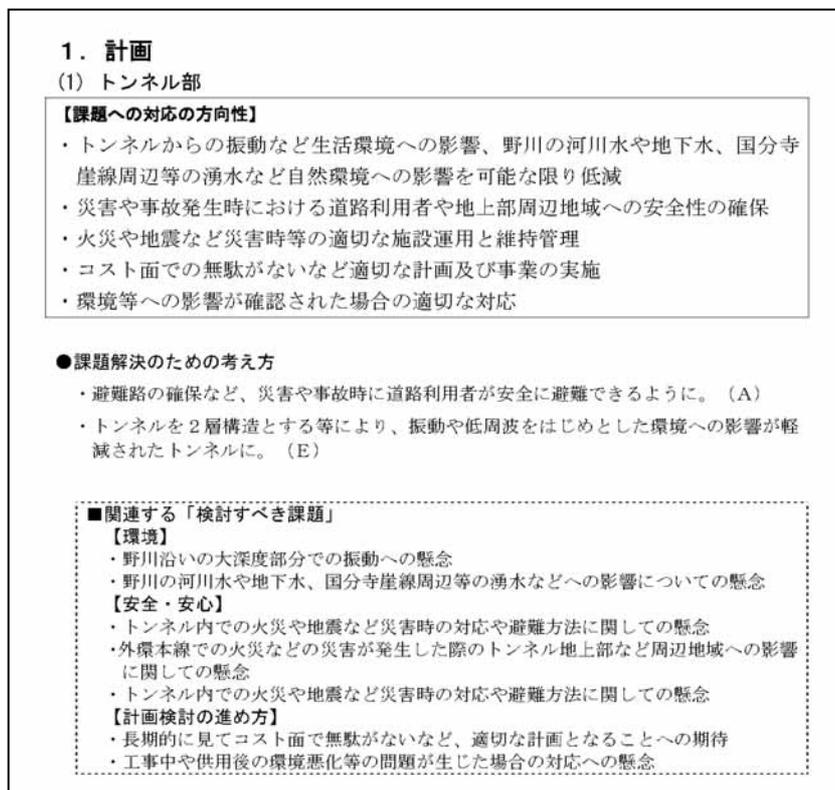
東名ジャンクション周辺地域の課題検討会

課題への対応の方向性と優先度 目次

0 . 本資料各項目の構成について	
1 . 計画.....	1
(1) トンネル部	
(2) ジャンクション部	
(3) 環境施設帯	
(4) 換気所	
(5) 周辺部	
2 . 調査.....	11
3 . 工事.....	13
4 . 管理.....	14
5 . その他.....	15
(1) 東名ジャンクション以南	
(2) 用地・補償	
(3) 検討の進め方など	

## 0 . 本資料各項目の構成について

本資料の各項目は、次の ～ の部分から構成しています。



### 課題への対応の方向性

地域課題検討会のステップ1の主催者側の成果『検討すべき課題』( )及びステップ2の検討会メンバーの成果『課題解決のための考え方と課題の重要度』( )を踏まえて、計画の要素(対応の段階及び構造の位置)毎に、課題対応の基本的な方向性を主催者として整理したものを。

### 課題解決のための考え方

地域課題検討会のステップ2の成果『課題解決のための考え方と課題の重要度』から、計画の要素(対応の段階及び構造の位置)毎に、各グループの「課題解決のための考え方」を引用したものを。末尾に( )でグループ名を付記しています。

### 関連する「検討すべき課題」

各計画の要素(対応の段階及び構造の位置)毎に、関連する「検討すべき課題」を列記したものを。

# 1. 計画

## (1) トンネル部

### 【課題への対応の方向性】

- ・トンネルからの振動など生活環境への影響、野川の河川水や地下水、国分寺崖線周辺等の湧水など自然環境への影響を可能な限り低減
- ・災害や事故発生時における道路利用者や地上部周辺地域への安全性の確保
- ・火災や地震など災害時等の適切な施設運用と維持管理
- ・コスト面での無駄がないなど適切な計画及び事業の実施
- ・環境等への影響が確認された場合の適切な対応

### 課題解決のための考え方

- ・避難路の確保など、災害や事故時に道路利用者が安全に避難できるように。(A)
- ・大深度トンネルの生活の安全性や自然環境への影響に対する懸念に対応し、地盤や野川の湧水への影響等に関する十分なデータ収集と情報公開を。(B)
- ・トンネルを2層構造とする等により、振動や低周波をはじめとした環境への影響が軽減されたトンネルに。その場合は、その構造の有効性等の根拠がわかるように。外環の構造を含めた十分な交通事故予防対策が図られるように。特に、大深度地下での交通事故発生時に被害拡大が懸念される大型車や危険物運搬車両に対して通行規制の検討を。(E)

### 関連する「検討すべき課題」

#### 【環境】

- ・野川沿いの大深度部分での振動への懸念
- ・野川の河川水や地下水、国分寺崖線周辺等の湧水などへの影響についての懸念

#### 【安全・安心】

- ・トンネル内での火災や地震など災害時の対応や避難方法に関する懸念
- ・外環本線での火災などの災害が発生した際のトンネル地上部など周辺地域への影響に関する懸念
- ・トンネル内での火災や地震など災害時の対応や避難方法に関する懸念

#### 【計画検討の進め方】

- ・長期的に見てコスト面で無駄がないなど、適切な計画となることへの期待
- ・工事中や供用後の環境悪化等の問題が生じた場合の対応への懸念

## (2) ジャンクション部

### 【課題への対応の方向性】

- ・ジャンクション構造については、地域のみなさんから示された地下構造にできないのかといった提案を含む多くの意見を重く受け止め、必要な現地調査等を実施の上、地域への影響が小さくなるようジャンクション構造の見直しに向けた技術的な検討を実施
- ・ジャンクションやトンネル坑口からの大気質、騒音、振動、低周波音、地盤沈下等の生活環境への影響の低減
- ・野川の河川水や地下水、国分寺崖線周辺等の湧水、野鳥など生態系や生息環境、地域の緑地や樹林などの自然環境への影響の低減
- ・野川、殿山等の自然や地域の歴史を活用し、周辺地域の景観や風景との調和
- ・地域のコミュニティが分断されないよう地域の人の交流や子供の遊べる憩いの場の創出、生活道路などの移動利便性の確保など、高架下などの有効利用
- ・通学路等における交通の安全性の確保

### 課題解決のための考え方

- ・ドーム化、地下化、料金所の ETC 化など、大気、景観、周辺の農地等への日照などに配慮した構造で、住民に不安を与えないように、野川にかかる橋を残し、地域を分断しない構造に。緊急車両の動線や避難路を確保するなど、災害時の対応に配慮を。ジャンクション内や高架下などの特性を活かし区民の交流の場を。(A)
- ・コンペなどで複数のジャンクション構造案を提示し、それらを科学的なデータに基づいて比較検討をすることで、地域の自然環境や生活環境に影響の少ないジャンクションに。(B)
- ・自然(緑、小川、動植物)や、昔ながらの田舎の風景を残すとともに、景観への影響を低減する構造物に。地下化も含め、複数の構造案を比較して、地元と話し合いながら全体的視野での検討を。一方で日本の大動脈に支障の無いよう、また、地盤の状況も十分に踏まえ、きちんとした計画を。(C)
- ・地域にとって迷惑施設とも言えるジャンクションは、料金所や道路勾配などを見直し、野川や多摩堤通りの付替えも含めた幅広い検討等を通じて、できる限り地下化し、環境に配慮を。(D)
- ・現計画の料金所・掘割部分を含めたジャンクション部の完全地下化等に関して検討し、大気質への影響の低減を。地下化は、海外の実例にならないながら、外部の民間の知恵も入れた画期的な計画に。コミュニティの分断や生活利便性の低下などを招かないように。ETCの義務化や曲線部の半径の減少も含め、新しい考え方の導入を。(E)
- ・砦公園を使った計画や連結路の1本でも2本でも大深度になる工夫を試みるなど、できるかぎり大深度や地下を活用するような様々な計画を考えることで、地下水の分析等の環境等の問題の発生確率を限りなく小さくさせると同時に景観やまちづくりへの影響を小さくできる。また、結果として立ち退きも大きく減少しコストダウンにつながる。(F)
- ・ジャンクションの全面地下化という可能性の薄い提案ではなく、ランプ部分を東名の

下をくぐらせ、ジャンクションの半地下化や東名本線やランプの蓋架けなどの方策について検討し、現実的な排気ガスや騒音等の環境への影響の軽減を。(G)

- ・砧公園、仙川の地下を通すなどジャンクション部の地上部分の合計距離を最小限に抑える構造とすることで、自然環境や大気環境、及び、良好な景観を保全しつつ、農業が継続できるような環境を。防災上も重要な土地として農業用地が縮小しないように。(H)

関連する「検討すべき課題」

【交通】

- ・ランプの高低差が大きいことによる東名ジャンクションでの渋滞への懸念

【環境】

- ・周辺に教育施設や医療施設が多く、換気所やトンネル坑口から漏れ出す排気ガスによる大気質への影響についての懸念
- ・ジャンクション構造物や換気所並びに国分寺崖線等の地形において季節や気象条件に応じて空気が吹きだまることなどによる大気質への影響についての懸念
- ・勾配のあるジャンクションにおける減速・加速や、料金所における渋滞、停止・発進による排出ガスの大気質への影響についての懸念
- ・東名ジャンクション以南が整備されないことによるジャンクション周辺等の渋滞による大気質への影響についての懸念
- ・外環整備による交通円滑化により首都圏全体の大気質や渋滞の改善への期待
- ・換気所やジャンクションの周辺地域での騒音や振動、低周波音への懸念
- ・野川の河川水や地下水、国分寺崖線周辺等の湧水などへの影響についての懸念
- ・地下水の変化に伴う地盤の沈下が起こるのではないかとの懸念
- ・国分寺崖線の樹林が減少するなどの影響があるのではないかとの懸念
- ・神明の森みつ池のホタルや田直公園のカワセミ、野川の魚、オオタカをはじめとした野鳥などの生息・生育環境がなくなってしまうことへの懸念
- ・道路照明の影響で生態系などに影響が出ることへの懸念
- ・殿山など地域の緑地が減少しないかとの懸念
- ・環境施設帯などで、緑と触れ合える環境の創出への期待
- ・ジャンクション構造物が整備されることによる旧御料林などが残る野川一帯から国分寺崖線、喜多見地域の自然、多摩川等の景観への影響に関する懸念
- ・東名高速道路の上を通るランプや換気所の設置により、喜多見地域の田園風景など、地域の景観への影響に関する懸念
- ・高架下が殺風景にならないかとの懸念
- ・整備される施設のデザインが周辺と調和がとれるのかとの懸念
- ・野川一帯から殿山までの田舎の風景を活かした計画への期待
- ・ジャンクションや換気所などの構造物による周辺地域への日照や風の影響、電波障害などへの懸念

【まちづくり】

- ・地域の歴史・文化が壊されるのではないかとの懸念
- ・地域の歴史や文化、風景を大切に、デメリットの解消だけでなく地域にとってメリットが享受できる計画への期待
- ・多摩堤通りへのアクセスなど移動の利便性の低下への懸念
- ・大正橋、茶屋道橋、野川水道橋など、野川に架かる橋がなくなると移動が不便になるのではないかとの懸念
- ・既存の生活道路の機能が確保されるのかとの懸念
- ・通学路が分断されるのではないかとの懸念
- ・地域の農地が減少するのではないかとの懸念

- ・地域の人との交流ができる憩いの場の創出への期待
  - ・子供の遊び場の減少が懸念されており、子供が遊べる安心できる空間が残されることへの期待
  - ・東京にあっては貴重な水、緑、きれいな空気や動植物が生息する環境などに配慮した計画となることへの期待
  - ・自然や歴史が織りなすこの地区の風景や景観を活かしていくことへの期待
- 【安全・安心】
- ・通学路における交通の安全性の確保についての懸念
  - ・高架下や環境施設帯などが人目の届かない空間となることによる治安の悪化への懸念
  - ・高架構造のランプにおいて、地震時の倒壊や事故の火災等による周辺地域への影響に関する懸念
  - ・野川への排水系統が分断され、冠水するのではないかと懸念
- 【計画検討の進め方】
- ・最新の技術が活用されることへの期待
  - ・ジャンクション構造などを複数案提示し、住民の意見を聴くことへの期待

### (3) 環境施設帯

#### 【課題への対応の方向性】

- ・環境施設帯を活用し生活道路等の代替機能を確保
- ・緑豊かな空間の形成による野鳥などの生息・成育環境の創出、景観等への影響を低減
- ・地域の歴史、文化、風景などに配慮し、地域の人交流できる憩いの場の創出、生活道路などの移動の利便性の確保など、周辺地域のまちづくりと連携した環境施設帯の有効利用

#### 課題解決のための考え方

- ・植樹や構造物の緑化など、地上部の構造物を隠す工夫を。施設帯の幅を工夫するなど、神社などの地域資源に影響のないように。区民利用施設の設置により事業の影響を受ける地域にメリットを。(A)
- ・外環整備によって失われる生活道路の代替機能を確保するとともに、単なる緑化にとどまらず、地域の新たな資産となる様に、また、市民の貴重な憩いの場である野川沿いの空間を上手に利用して地域の新たな資産となる様に。さらに、安全・安心して利用できる様に防犯面の対策を。(B)
- ・昔から地域にあった農業、交流等を復活させ失われる農業、緑、ふれあいを生み出すような空間の創出を。(C)
- ・大正橋、茶屋道橋、水道道橋など、分断の恐れがある生活道路の機能の確保を。外環地上部での大規模事故の発生時に対応できる避難スペース等の確保を。住民の目の行き届く治安の良い場所に。(D)
- ・環境施設帯の計画地内の良好な樹林を最大限残したり、新たに高木を植えて外環道の周りを緑豊かなゾーンを形成したりすること等により、大気汚染の緩和や現況の緑ある生活環境をできるかぎり保てるように。原風景である田畑や雑木林を復元(代替)し、動植物・昆虫等の生態系が保全されるように。(E)
- ・緑化を行うことなどにより、動植物への影響を抑え、現在の生態系の保全を。(F)
- ・環境施設帯を緑化することで、地域の環境資源の減少を抑え、地域の憩いの環境創造につなげられるように。(G)
- ・環境施設帯を農地として利用するなど、農業の継承の観点から、地域とのつながりを持てるような配慮を。里山的な樹林帯や緑地公園などを整備し、猛禽類の移動の中継ポイントとなるような自然や生態系に配慮した緑地空間づくりを。(H)

#### 関連する「検討すべき課題」

##### 【環境】

- ・周辺に教育施設や医療施設が多く、換気所やトンネル坑口から漏れ出す排気ガスによる大気質への影響についての懸念
- ・勾配のあるジャンクションにおける減速・加速や、料金所における渋滞、停止・発進による排出ガスの大気質への影響についての懸念
- ・換気所やジャンクションの周辺地域での騒音や振動、低周波音への懸念
- ・神明の森みつ池のホタルや田直公園のカワセミ、野川の魚、オオタカをはじめとし

- ・た野鳥などの生息・生育環境がなくなってしまうことへの懸念
- ・環境施設帯などで、緑と触れ合える環境の創出への期待
- ・美しい景色が望める殿山などの貴重な視点場が失われることへの懸念
- ・環境施設帯に高木を植樹するなどにより、景観に配慮した計画への期待
- ・大六天神社がなくなることへの懸念
- ・コストを優先して環境への影響が軽視されるのではないかと懸念

**【まちづくり】**

- ・地域の歴史や文化、風景を大切に、デメリットの解消だけでなく地域にとってメリットが享受できる計画への期待
- ・地域のまちづくりに貢献し、地域の発展や活性化に寄与することへの期待
- ・環境施設帯を利用して、生活道路機能の確保することへの期待
- ・多摩堤通りへのアクセスなど移動の利便性の低下への懸念
- ・既存の生活道路の機能が確保されるのかとの懸念
- ・通学路が分断されるのではないかと懸念
- ・地域の農地が減少するのではないかと懸念
- ・地域の人の交流ができる憩いの場の創出への期待

**【安全・安心】**

- ・高架下や環境施設帯などが人目の届かない空間となることによる治安の悪化への懸念

#### (4) 換気所

##### 【課題への対応の方向性】

- ・トンネル内を走行する自動車からの排出ガスを換気所で適切に処理
- ・換気所からの騒音、振動、低周波音などの生活環境への影響の低減
- ・火災や地震など災害時等の適切な施設運用と維持管理
- ・換気所のデザイン等の検討により、地域の景観などに配慮
- ・環境等への影響が確認された場合の適切な措置検討、十分な情報提供

##### 課題解決のための考え方

- ・景観への影響や風が巻くという地域特有の現象に配慮し、換気所を殿山側に移動させ登り窯方式にする等の換気計画や、排気箇所の分散を検討することで大気や景観への影響の低減を。また、最新技術を活用して、排気ガスの十分な処理を。火葬場や焼却場などといったイメージをさせないようなデザインとし、緑化することなどにより景観に十分な配慮を。(A)
- ・換気所の位置や数を複数案の比較によって検討し、一部の地域だけにしわ寄せがいかないように、また、できる限り自然、生活環境への影響の少ない換気所となるように。(B)
- ・換気の処理能力が十分なのか、人体へのリスクやPM2.5への対応が十分なのかがわかるように、詳細なデータにもとづいた計画、施工を。換気所を複数設置して、リスクの分散を。また排気ガスに伴う被害に対して補償や優遇措置を。地域の田舎らしい風景になじんだ換気所のデザインを。(C)
- ・沿線全体での公平な負担を考えた換気所の分散配置や、最新の浄化技術の導入、坑口部分の排気ガス対策などで良好な大気環境を。将来を見通した環境関連技術や交通需要を踏まえた検討を。風洞実験などを通じて、ヒートアイランド現象やビル風の発生等に配慮した構造に。(D)
- ・空気の集まりやすい場所への集中的な大気汚染や、換気所の故障時などのリスクをできるだけ回避するような換気計画を。(E)
- ・PM2.5への対応など、良好な大気環境を保全するとともに、換気所からの騒音に配慮を。(F)
- ・東名以南の完成を前提として換気所の能力を確認するとともに、換気所の設置方法を再検討することにより換気所の箇所数を増やすなど、地域の大気汚染のリスクを最大限回避できるように。(G)
- ・換気所の設置により、地域の大気環境が大幅に悪化することがないように。(H)

##### 関連する「検討すべき課題」

###### 【環境】

- ・周辺に教育施設や医療施設が多く、換気所やトンネル坑口から漏れ出す排気ガスによる大気質への影響についての懸念
- ・ジャンクション構造物や換気所並びに国分寺崖線等の地形において季節や気象条件に応じて空気が吹きだまることなどによる大気質への影響についての懸念
- ・換気塔の高さが十分ではないのではないかと懸念

- ・換気所の性能や故障時の対応等についての懸念
  - ・換気所やジャンクションの周辺地域での騒音や振動、低周波音への懸念
  - ・東名高速道路の上を通るランプや換気所の設置により、喜多見地域の田園風景など地域の景観への影響についての懸念
  - ・整備される施設のデザインが周辺と調和がとれるのかとの懸念
  - ・ジャンクションや換気所などの構造物による周辺地域への日照や風の影響、電波障害などへの懸念
- 【安全・安心】
- ・トンネル内での火災や地震など災害時の対応や避難方法についての懸念
- 【計画検討の進め方】
- ・最新の技術が活用されることへの期待
  - ・工事中や供用後の環境悪化等の問題が生じた場合の対応への懸念
  - ・地域住民への十分な情報提供への期待

## (5) 周辺部

### 【課題への対応の方向性】

- ・ 周辺部の生活道路などの交通量が増加した場合の交通混雑や住環境への影響に対する適切な対応
- ・ 地域コミュニティの分断やバスルートなど移動の利便性へ配慮し、生活動線の代替機能を確保
- ・ 緊急車両等の通行など非常時に対応できるまちづくり
- ・ 地域の歴史、文化、景観に配慮し、緑と触れ合え地域の人交流できる憩いの場の創出
- ・ 国分寺崖線や野川などの自然や地域の歴史、文化を活用したまちづくり

### 課題解決のための考え方

- ・ 現在の生活動線を踏まえ、地域コミュニティの分断を避け移動の利便性が下がらないように。また、高齢者の移動のしやすさにも気をつけて。外環整備とあわせて周辺部も含めた地域の防災性の向上を。(A)
- ・ 外環整備に直接かからない生活道路はあえて整備することを避け、また、整備の影響を受ける生活道路は環境施設帯などでその機能を確保することで、現状の生活環境が極力維持するとともに、周辺のまちづくりの検討は住民に諮りながら進めるように。(B)
- ・ 環境(大気、景観など)への影響や対策を地域住民だけでなく、国立成育医療センターなどの地域の関係機関が計画を進めてもよいといった証明書を出すなどし、地域の組織として責任を果たすようにする。自然や景観の保全のため、樹木の積極的な保存や、用途や建築の制限の導入も。東名以南の延伸が遅れることで、周辺道路の混雑や生活道路への侵入について、広域的、多角的な面からの予測や十分な調査を。(C)
- ・ 段階的な道路網の充実などにより、閑静な住宅街の環境の維持を。ジャンクションが地域に与える影響を補償し、地域に不足している施設整備や緑化などにより地域にメリットがある計画に。(D)
- ・ 平穏さを壊すだけでなく大規模商業施設等の立地を誘発して豊かな自然や景観を大きく損ねる外環周辺の新規の道路整備を極力行なわないように。生産緑地を買取るなどして排出ガスを吸収する農地や緑地を極力保全するように。喜多見地区の交通面からの平穏が保たれるように。学校の移転も含め、喜多見小学校の子供たちの健康に配慮した良好な環境が保たれるように。(E)
- ・ 東名東京インターチェンジ出入口で動線を確保するなど実効性のある方法で、地域の渋滞問題の解決を。(G)

### 関連する「検討すべき課題」

#### 【交通】

- ・ 生活道路の交通量が増え、住宅街での渋滞や住環境の悪化への懸念
- ・ 環状8号線や、東名東京インターチェンジ周辺をはじめとした周辺交通の混雑についての懸念

#### 【環境】

- ・殿山など地域の緑地が減少しないかとの懸念
  - ・環境施設帯などで、緑と触れ合える環境の創出への期待
- 【まちづくり】
- ・ジャンクション周辺部に隘路が多く、緊急車両の通行等の非常時への対応に関する懸念
  - ・地域の歴史や文化、風景を大切に、デメリットの解消だけでなく地域にとってメリットが享受できる計画への期待
  - ・地域のまちづくりに貢献し、地域の発展や活性化に寄与することへの期待
  - ・既存のバスルートが変更になるなど交通利便性の低下への懸念
  - ・喜多見などの地域コミュニティの分断への懸念
  - ・大正橋、茶屋道橋、野川水道橋など、野川に架かる橋がなくなると移動が不便になるのではないかとの懸念
  - ・地域の人との交流ができる憩いの場の創出への期待
  - ・国分寺崖線や野川などの豊富な自然や農地などに親しみやすい地域となることへの期待
  - ・地域の歴史や古くから残されている文化遺産やこの地域の歴史を尊重することへの期待

## 2 . 調査

### 【課題への対応の方向性】

- ・ 大気質、低周波音、地質、地下水、動植物等の影響を適切に把握
- ・ P M2.5やヒートアイランドなど環境基準に定められていない項目への対応

### 課題解決のための考え方

- ・ 外環整備前後を通じて環境の変化が把握できるように。PM2.5 や低周波音など現在調査されていない項目については最先端の知見を参考に。子供への影響にも配慮した基準設定を。調査は関係機関と連携をとりながら推進を。( A )
- ・ 環境影響の調査地点や回数の増加、他事例の検証、第三者機関のチェックなどを実施し、外環整備の影響に関して住民が納得のいく十分な説明と新たなデータを反映した計画に。( B )
- ・ 地下水や井戸への影響や大気質、騒音、また、オオタカなどの希少生物の状況などについて、P M2.5 など新たに懸念される項目も含めて十分な調査と地域への報告を。調査結果や事例の評価をもとに、対応策の検討を。災害時や平均から外れた場合の検討も。( C )
- ・ PM2.5 に関する最新の知見をもとに調査したり、また、換気塔からの排ガスによる大気質への影響検討のために換気所の分散配置や高さの違いによるシミュレーション、さらに、低周波による睡眠時等を含めた乳幼児・高齢者・病人等の心身への影響も考慮したシミュレーションによる厳密な予測を行うなど、様々な角度から影響を検証することで健康被害を生じさせないように。シミュレーションはソフトだけでなく、実物の模型を制作し風洞実験等を行い、その結果と実際の誤差の改善も図るように。( E )
- ・ 大気質や地下水による動植物への影響が、計画前・工事中・供用後を通して継続的に、かつ詳細に把握できるように。( F )
- ・ 国分寺崖線などの地形や高架の東名高速道路の存在などのほか、季節風や台風時の風など、地域の固有の条件を踏まえた、ていねいな調査、シミュレーション予測・検討を。( G )
- ・ 大気質、地質、地下水に関しては、調査箇所を増やすことやシミュレーションを用いて詳細に検討することなど、より詳しく影響が把握できるような調査を。観測地点を増やすために、住民が参画する調査の実施も。( H )

### 関連する「検討すべき課題」

#### 【環境】

- ・ 周辺に教育施設や医療施設が多く、換気所やトンネル坑口から漏れ出す排気ガスによる大気質への影響についての懸念
- ・ ジャンクション構造物や換気所並びに国分寺崖線等の地形において季節や気象条件に応じて空気が吹きだまることなどによる大気質への影響についての懸念
- ・ 換気塔の高さが十分ではないのではないかの懸念
- ・ 地下水の変化に伴う地盤の沈下が起こるのではないかの懸念
- ・ 地下構造物の影響により地下水が遮断され、大雨時の排水能力についての懸念
- ・ 生活用水への影響についての懸念
- ・ PM2.5 やヒートアイランドなど現在の環境基準で定められていない項目についての懸念

【計画検討の進め方】

- ・地質や地下水などの調査が不足しているのではないかと懸念

### 3 . 工事

#### 【課題への対応の方向性】

- ・ 工事にともなう大気質や騒音・振動、粉じんなどの生活環境、地下水や土壌などの自然環境への影響を低減
- ・ 工事車両に伴う生活道路の機能や安全性の確保、交通の混雑の影響の低減
- ・ 工事中の環境等への影響が確認された場合の適切な措置検討
- ・ 工事の期間、工事車両に関する計画など工事内容等の十分な情報提供

#### 課題解決のための考え方

- ・ 防音設備の設置や作業時間帯の設定により、工事中の騒音による生活への影響への配慮を。問題があったら工事を中断できる仕組みとするなど、予測しない事態への対応に配慮を。計画通りに工事が進んでいることを情報提供するとともに、工事途中の計画変更の際には住民に十分な情報提供を。( A )
- ・ 工事期間中も生活道路の機能を確保し、地域の安全が保てる工事計画を検討することで日常生活への影響を最小限に食い止めるとともに、児童生徒の安全性を確保するための対策と工事期間や工事車両計画の情報の周知を。( B )
- ・ トンネル工事によって、振動や火災、水質汚染などの影響が生じないように。事例や実験も含めて情報の提供を。( C )
- ・ 東名以南の早期着工により、工事期間の短縮を。交通渋滞や騒音、排気ガスなどの環境面や、交通安全、治安面などに影響が出ないように。( D )
- ・ 工事中に発生が懸念される被害等についての情報公開を。( E )
- ・ 工事中に何らかの影響が出た時のすばやい対応や住民に情報提供・情報開示すること等により、住民の不安に応えるように。工事車両の集中による影響がないように。( F )

#### 関連する「検討すべき課題」

##### 【工事中】

- ・ 工事車両による世田谷通りや、多摩堤通りの渋滞や、その周辺地域を含めた交通安全性の低下への懸念
- ・ 工事期間中の生活道路機能の確保についての懸念
- ・ 工事に伴う騒音・振動、粉塵による環境への影響に関する懸念
- ・ 工事に伴う大気質、地下水、土壌への影響に関する懸念
- ・ 工事で発生した土が汚染されていた場合、その処理に関する懸念
- ・ 工事中における子供の安全への懸念
- ・ 工事中における地域の風紀悪化への懸念

##### 【計画検討の進め方】

- ・ 工事中や供用後の環境悪化等の問題が生じた場合の対応への懸念
- ・ 地域住民への十分な情報提供への期待

## 4 . 管理

### 【課題への対応の方向性】

- ・ 大気質、地下水、動植物等の生態系などの各段階での適切なモニタリングの実施、適切な計画実施への配慮、十分な情報提供
- ・ 供用後の大気質や、騒音・振動、電波障害等の生活環境、地下水や、湧水などの自然環境への影響の確認
- ・ 換気所の適切な点検、維持管理
- ・ 環境等への影響が確認された場合の適切な措置検討、十分な情報提供

### 課題解決のための考え方

- ・ 騒音、低周波音、地盤沈下、地下水の枯渇や溢出等で生活に支障が出た場合への配慮を。事前調査や定期的調査を行うとともに、基準値を超えた際の対策を計画に位置づけるなど、影響が生じた場合の対応が確実にとられるように。(A)
- ・ 環境への負荷の大きいガソリン車等の通行料が割高になる料金体系を導入するなど、地域への環境影響を軽減させる対応を。現在では想定できない新たな課題の発生に備えてPI等の検討体制の整備を。(D)
- ・ 外環ができてから何らかの影響が出た時のすばやい対応や住民に情報提供・情報開示すること等により、住民の不安に応えるように。(F)

### 関連する「検討すべき課題」

#### 【環境】

- ・ 換気所の性能や故障時の対応等についての懸念
- ・ 周辺に教育施設や医療施設が多く、換気所やトンネル坑口から漏れ出す排気ガスによる大気質への影響についての懸念
- ・ 換気所やジャンクションの周辺地域での騒音や振動、低周波音への懸念
- ・ 野川の河川水や地下水、国分寺崖線周辺等の湧水などへの影響についての懸念
- ・ 地下水の変化に伴う地盤の沈下が起こるのではないかとの懸念
- ・ ジャンクションや換気所などの構造物による周辺地域への日照や風の影響、電波障害などへの懸念

#### 【計画検討の進め方】

- ・ 工事中や供用後の環境悪化等の問題が生じた場合の対応への懸念

## 5 . その他

### (1) 東名ジャンクション以南

#### 【課題への対応の方向性】

- ・東名ジャンクション以南については、地域のみなさんから示された早期整備について多数の意見を重く受け止めるとともに、環状道路の機能を十分に発揮する上で必要との認識のもと、これまでの基礎的な調査等を踏まえて、検討のスピードを速めてまいります。

#### 課題解決のための考え方

- ・東名以南を含めた計画検討を。( A )
- ・東名以南へ延伸されることで、首都圏の高速交通網の完成と渋滞の解消を。( C )
- ・環境影響の軽減に大きく関与する東名以南の延伸について、同時着工を含めた早期実現を。東名以南地区の計画地内の宅地化については、事業化がスムーズに進むよう、計画内容・整備時期の情報周知を。( D )
- ・東名高速以南の外環整備の同時施工を検討する等により、周辺地域への諸影響が大きくなるようにし、外環による大気汚染による子供たちの健康被害などが防げるように。( E )
- ・東名以南の整備などにより、東名東京インターチェンジ周辺地域への影響を抑えられるように。( F )
- ・様々な課題を総合的に検討、解決するため、課題の重要度について認識の共通化を。特に 大気質の確保と、ジャンクションの半地下化、東名以南の延伸計画との同時検討については重要。( G )
- ・東名以南も含めたスケジュールなどについて住民への詳細で丁寧な説明を。( H )

#### 関連する「検討すべき課題」

##### 【交通】

- ・外環の東名ジャンクション以南への延伸により交通渋滞の改善や利便性が高まることへの期待
- ・東名ジャンクション以南の検討が進まないことによる懸念

##### 【環境】

- ・東名ジャンクション以南が整備されないことによるジャンクション周辺等の渋滞による大気質への影響についての懸念

## (2) 用地・補償

### 【課題への対応の方向性】

- ・用地等の補償に関し、地権者のニーズに応じた丁寧な対応と十分な情報提供

#### 課題解決のための考え方

- ・移転先や補償の協議などについては、生活や商売に直接関係があるため、個々の関係者に十分な配慮を。(A)
- ・地権者等の影響の大きい住民に対しては、用地補償やスケジュールに関する説明の強化と現状の住宅環境レベルを維持できるような配慮を。(B)
- ・地域との十分な協議の時間を。地域住民への丁寧な対応や情報提供、また、しっかりと引き継ぎで不安を取り除いて。(C)
- ・用地買収にかかる地権者等には、移転時期等の条件を明確に。(D)
- ・移転が想定される世帯に対しては、早い段階から、的確な情報提供や話し合いの場の設定により、生活不安の解消を。(G)
- ・補償や税制措置などについて住民への詳細で丁寧な説明を。(H)

#### 関連する「検討すべき課題」

##### 【用地・補償】

- ・代替地(農地)の確保や補償などへの懸念
- ・地権者への個別に丁寧な対応をすることへの期待

### (3) 検討の進め方など

#### 【課題への対応の方向性】

- ・最新のデータ等を活用した適切な計画の検討
- ・最新技術の活用の検討
- ・今後の検討にあたり地域の住民のみなさんへの十分な情報提供の上、適宜適切に意見をお聴きしながら検討

#### 課題解決のための考え方

- ・大気への影響、換気所の処理能力、他事例における環境変化の状況に関するデータなど、環境影響や影響対策及びその根拠などの情報を住民が入手できるように。将来交通量予測等、将来の動向を見据えた計画検討を。地域課題検討会終了後、住民が連絡を取りやすいよう行政の役割と窓口を明確に。行政は住民の目線にたって継続的な情報発信を。(A)
- ・外環整備の効果、計画案の技術的妥当性、環境影響調査の信憑性を科学的なデータを用いた具体的な説明によって明らかに。東名以南の計画は以南ができたことを前提としたデータも検証してから改めて検討を。(B)
- ・交通量の管理なども含めた渋滞対策も。地域との十分な協議の時間を。地域住民への丁寧な対応や情報提供、また、しっかりと引き継ぎで不安を取り除いて。(C)
- ・他省を含めた課題検討会を開催しながら、今後も住民等が関わり続けられるように。また、日本でも設計コンペ等で住民側が代替案をつくることのできる方策がとられるように。さらに、行政責任者は同一者が長期にわたり事業に携わるように。(E)
- ・道路整備以外の方法の検討により、地域の渋滞が酷くならないよう。市民の意見を聴きながら検討を。(F)
- ・様々な課題を総合的に検討、解決するため、課題の重要度について認識の共通化を。特に 大気質の確保と、ジャンクションの半地下化、東名以南の延伸計画との同時検討については重要。移転が想定される世帯に対しては、早い段階から一軒一軒に的確な情報提供や話し合いの場の設定により、生活不安の解消を。実際の道路の供用後の状況を踏まえた説明などにより、地域住民の理解を進める努力を行い、また最新技術を取り入れた対策の検討を。(G)

#### 関連する「検討すべき課題」

##### 【交通】

- ・首都高3号線や環状8号線、国道246号、多摩堤通り、世田谷通りなどの幹線道路の渋滞解消に効果がないのではないかと懸念
- ・環状7号線、環状8号線の混雑改善への期待

##### 【環境】

- ・コストを優先して環境への影響が軽視されるのではないかと懸念

##### 【計画検討の進め方】

- ・外環の整備効果が十分発揮されるのかとの懸念
- ・人口動向等を踏まえた将来の交通量に合った計画となっているのかとの懸念
- ・長期的に見てコスト面で無駄がないなど、適切な計画となることへの期待
- ・最新の技術が活用されることへの期待
- ・地域課題検討会での意見が計画に反映されないのではないかと懸念

- ・ジャンクション構造などを複数案提示し、住民の意見を聴くことへの期待
- ・外環が整備された後もPIを継続することへの期待
- ・地域住民への十分な情報提供への期待